

史跡 大森勝山遺跡

(読み方) しせき おおもりかつやまいせき

(英語) Omori Katsuyama Stone Circle

【所在地】

青森県弘前市大森

【年代】

紀元前 1,000 年頃 (約 3,000 年前)

【キャッチコピー】

岩木山麓につくられた大規模な環状列石

【説明文：96字】

岩木山麓の丘陵上に立地する大規模な環状列石を伴う祭祀遺跡。環状列石は、盛土した円丘の縁辺部に 77 基の組石を配置して円環を築いている。環状列石及びその周辺からは円盤状石製品が大量に出土している。

【説明文：143字】

岩木山麓の丘陵上に立地する大規模な環状列石を伴う祭祀遺跡。環状列石は、盛土した円丘の縁辺部に 77 基の組石を配置し、長径 48.5m、短径 39.1m のやや楕円形に造られている。環状列石及びその周辺からは、円盤状石製品が約 250 点出土し、環状列石に関連する祭祀・儀礼用の道具と考えられている。

【説明文：244字】

岩木山麓の丘陵上に立地する環状列石を伴う祭祀遺跡。環状列石は、円丘状の盛土の縁辺部に 77 基の組石を配置し、長径 48.5m、短径 39.1m の楕円形に造られている。環状列石及びその周囲からは、円盤状石製品が約 250 点出土し、環状列石に関連する祭祀・儀礼用の道具と考えられている。本遺跡の周辺には環状列石がないため、広域にわたる複数の集落によって構築、維持、管理された祭祀場と考えられ、精神文化の発達を顕著に示す。環状列石の後背には岩木山を望むことができ、冬至の日には山頂に太陽が沈むとされる。